

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

# 清元院だより

## 第23号



清元院 所蔵 『十六善神像』 掛軸

清元院では、毎年3月の第2土曜日に大般若法要を行います。「大般若経600巻(清元院所蔵は200巻)を転読(唱文を唱えながらパラパラと振るように経本をめくること)し、お経の功德をいただく法要です。その際、転読の風に当たると無病息災で平安に過ごすことができると言われています。

法要中は、本尊様に代わって十六善神像の掛軸を正面に掛け礼拝します。清元院の十六善神像は、120年前(明治38年)に国実川上藤次郎氏)によって調えられたものです。

この掛軸は中央にお釈迦様を配し、これを取り囲むように、大般若経の教え(法)を護る十六の神(十六善神)が描かれています。そして右下には、1400年前に中国(唐)からインドへ決死の旅をして「大般若経」を持ち帰り、4年の歳月をかけて中国語に翻訳した玄奘三蔵(三蔵法師)も描かれています。

どなたでも参列いただける大般若法要です。大般若経の功德をいただき、十六善神と三蔵法師の威徳を仰ぎに、ぜひ皆様おいでください。

### 誌上法話⑭

以西ふるさとめぐり⑨

活動紹介⑧ 「お大師講」

声・のんのんさま⑦

イベント情報・お知らせ

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之

佛歴二五六七年 令和6年3月8日

## 誌上法話⑭

約800年前に大本山永平寺を開かれた道元禪師様は、「修証義」というお経の中で、  
「あなたという人は、世界中にたった一人の自分です。今という時は、一生にたった一度しかない瞬間です。大切に丁寧に歩んでください。」とおっしゃいました。

命と瞬間を大切に生きるとは、言い換えると「人生を楽しむ」ことだと私は思うのです。心から楽しい、うれしい、幸せ、安心と感ずることだけでなく、苦しくつらいことを乗り越えた先にある満足感、達成感、喜びもまた人生を楽しむことだと思えます。

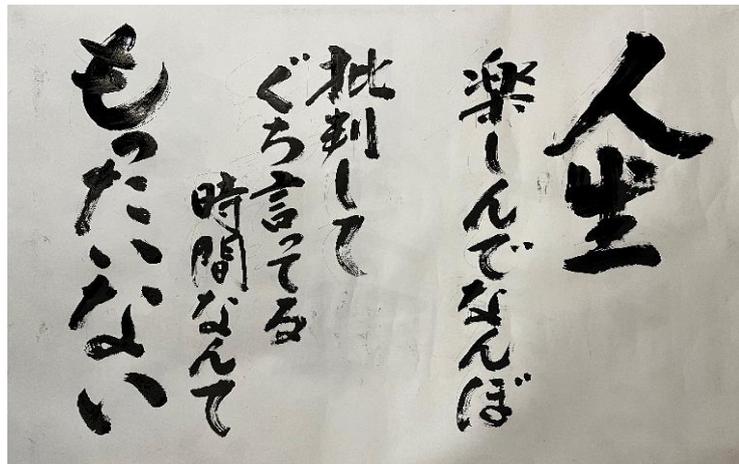
でも「楽しむ」ことを邪魔するのも自分です。仏教ではそれを「三毒」と言います。三毒とは……

- ・貪(とん)……もつともつと自分の手に入れたいものを貪る欲望
- ・瞋(じん)……思い通りにならない怒りに任せ自分を見失うこと
- ・痴(ち)……恨み、ねたみ、憎む愚かな心

三毒は自分の身と口と心から生まれてきます。同じ言葉を耳にしても、怒る人もいれば、自分を振り返る良い機会をもたらしたと思う人もいます。すべて自分の受け止め方次第なのです。この世で一番思い通りにならないものは人です。ですから批判したり愚痴を言いたくなったりすることもあつてでしょう。

そんな時は、その気持ちは人のせいではなく「自分の中から生まれていくんだ。」そんな気持ちは捨ててしまえ!」と思ってみると、あら不思議、スツと心が楽になります。

これが最近の私が楽しんで生きる秘訣です。みなさんも、ぜひ試してみてください。



清元院掲示板「3月のことば」

## 「以西」の地名由来 ～奈良時代から江戸時代～

この清元院がある以西(いさい)地区がなぜ「いさい」という変わった読み方で呼ばれているのか知っていますか? 以西地区の呼び名の歴史をたどってみましょう。

■奈良時代(約1300年前)には成美・以西一帯は「荒木の郷」(あらかきのごう)と呼ばれていました。荒れ地で樹木の少ないところという意味です。樹木が繁る豊かな土地になることを願って大森大明神を祀る大森神社(竹内部落)が作られました。

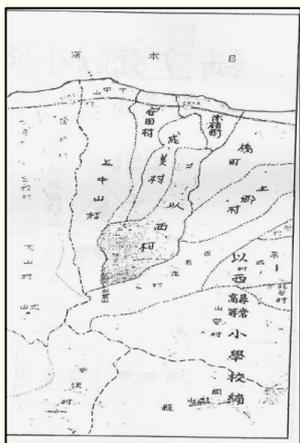
■鎌倉時代(約800年前)には「以賽」と書き「いさい」と呼ばれるようになります。承久の乱のころ、池田王の子孫が池田以賽守(いさいのかみ)となり、分乗寺に居住し、後に竹内の神主屋敷に移り住んだと記録が残っています。

■江戸時代中期(約300年前)の赤碕の中心は、北前船が寄港する菊港で、大変にぎわっていました。以西から菊港に至る道は通称「海蔵寺道」(かいぞうじみち)と呼ばれ、清元院と菊港近くの海蔵寺をほぼ直線で結ぶ山の上の道でした。この道を境として、東側の八橋・上郷方面を以東郷、西側の以西・成美方面を「以西郷(いさいのごう)」と呼んでいたようです。

■このころ記された『伯耆民談記』の中では「以西郷14ヶ村(大父、大熊、山川、国実、今治、高木、金屋、竹内、今在家、出上、分乗寺、水口、大石、福留村)」と記述されています。これによると、以西とは現在の以西地区から日本海に向かって、山陰道の琴浦船上山インターチェンジのある福留までを指していたことが分かります。

■現在の以西地区の範囲が定められたのは、歴史の中ではごく最近の明治時代(約160年前)になってからです。

千年以上にわたって、勝田川沿いの広い範囲を指して「いさい」と呼んでいたのです。



## 活動紹介⑧

## お大師講

令和6年は、6/16(日)9:30 開催  
103年前の伝統をリノベーション!



今から103年前(大正10年)、この地にいながら四国・小豆島88カ所めぐりができるように88体のお大師様(弘法大師)を以西地区の88軒の家にお迎えしました。それ以来、以西全体・各部落で「お大師講」として、お大師さんを縁側に飾り、お参りに来た方を接待することが盛んに行われ、多くの方が拝んで回っていたそうです。これが「以西村新四国八十八番」です。科学や医学がまだ発達していないこの時代は、病気や災害・天気など、人の力の及ばないことばかりで、ひたすらに神仏にすがるしかなかったのです。その後いったん廃れたお大師講ですが、8年前、清元院にお大師様を集める形に姿を変えて復活しました。毎年6月に行います。お楽しみイベントも同時開催します。どうぞ皆さま、お参りください。

### 声こえ

【2/25 死の体験旅行受講者の方々】

❖今年成人を迎え、日々の生活や関わりのある人のことを改めて考え思い、そのうえで全て手放すことを体験できました。今の自分に大切なものや人を再認識することもできました。これからの人生には様々なことがあると思いますが、日々感謝し、悔いのない人生を歩みたいと思います。

❖大切なモノ・コトを失っていき、忘れていくことに寂しさを感しながら、今まで(失う前・忘れる前)はとても満たされていたなと感じました。くしゃくしゃにしたカードを両手に抱えた時、「私をカタチ作ってきた・作っているものは全て手の中に、すでにある」と温かい気持ちになりました。

❖予想していたよりも緊張していたようで、汗をかいて心臓が強く鳴っているのが分かりました。最後に残ったのは「人」でした。でも「ありがとう」と言って手放すことができました。元気なうちにやりたいことをやっておくことにします。

## のんのんさま⑦

元気な子どもたちを紹介  
かがやく宝ほとけの子



琴浦町赤碕金屋  
齋尾紀之さん、智子さんのお子さん

(後列右から) (前列右から)

はじめ 元くん(20歳) 南さん(14歳)

まこと 真くん(18歳) 泉さん(6歳)

まどか 円さん(16歳) 寛くん(9歳)

たける 尊くん(11歳)

《お父さん・お母さんより》

7人の個性的な子どもたちのおかげで、毎日とっっても楽しく幸せです。

ありがとうございます。

これからも仲良く、笑顔で過ごせるように願っています。

## 3/17 お地藏様作り教室

大人気のイベントです。二部に分けて本堂をゆったり使って行います。

- 3月17日(日)
- 午前の部 9時半～
- 午後の部 13時半～
- 各20名限定
- 参加費 一人2200円



※ご希望の方は早めに申し込まれることをおススメします。

## 3/24 はすとも 大募集

■ 3月24日(日) 午後1時半～  
桜の花が咲く頃、ハスの蓮根を植え替えます。全部で50鉢です。なので、住職一人では大変です。

そこで蓮友(はすとも)を募集し、みなさんと一緒に蓮を植え、育て、花を楽しみたいと思います。お手伝いいただいた方には蓮根をおすそ分けします。

みなさん「はすとも」に参加して蓮を楽しみませんか！  
(※汚れてもよい服装で)



## 3/20 彼岸会塔婆供養

■ 3月20日(日) 9時～15時  
供養したい方のお名前を塔婆にお書きし、住職と一緒にお経を挙げてご供養します。

(注)家族以外でも亡くなられたあなたにとって大切な方、能登半島地震で亡くなった方々など、どなたのご供養でもできます。何か気持ちをお伝えたい方はおいでください。

◆塔婆一本千円  
※終わったらお墓参りをして塔婆を立ててください。(お寺に立てることもできます)



## 4/7 花まつりに集合

お釈迦さまの誕生パーティーです。

■ 4月7日(日) 10時～  
法要・紙芝居・ビンゴゲーム  
(※全員に景品あります！)

■ 「でこぼこしようちゃん」のあそびうたコンサートも♡

■ 終日

・ 甘茶飲み放題

・ 甘茶かけ

■ お土産

・ 甘茶あめ

・ 花まつりサイダー



## 5/12 お寺で終活相談会

漠然とした終活の不安や悩みをお持ちの方に安心と専門的な知識をお届けします。

- 5月12日(日) 13時～16時
- 第一講「シニアの片付け・親の家の片付け」
- 第二講「生きるための葬儀・供養・お墓」
- 清元院本堂 ■ 先着50名
- 入場無料

## 【報告】 琴浦開運昇龍めぐり

今年辰年ということで、琴浦町観光協会が神崎神社の龍の彫刻と清元院の天井絵「龍溪図」を巡る「琴浦開運昇龍めぐり」をウェブやテレビ・雑誌等でPRされた結果、元旦から多くの参加者がおいでのになりました。1月・約1000人、2月・約600人と、大変な賑わいでした。



## ◆ 七月までの行事

◇ 3月17日 お地藏様作り教室 (午前の部 9時半) (午後の部 1時半) ※要申し込み

◇ 3月20日 彼岸会先祖供養 (9時～15時) ※要申し込み

◇ 3月24日 蓮の植え替え (午後2時)

◇ 4月7日 花まつり (午前10時)

◇ 5月12日 お寺で終活相談会 (12時半) ※要申し込み

◇ 6月16日 お大師講 (午前9時半) ※要申し込み

◇ 6月23日 死の体験旅行 (14時～16時) ※要申し込み

## ◆ 月例行事

■ 写経写仏の会 (8月は休会)

・ 第1日曜 午後3時～

■ 坐禅会

・ 第3水曜 午後7時30分～

■ お寺ヨガ

・ 第4水曜 午後7時30分～

※期日は変更になることがあります。



# 清元院

住職 井上 英之

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57

TEL 0858-55-7063 fax 0858-55-7064

メール [inoterai@gmail.com](mailto:inoterai@gmail.com)

facebook :井上英之 清元院

清元院 琴浦

検索



清元院 HP